

# ～栄光の架け橋～ (集!) 第54回北海道中学校スピードスケート大会

いよいよ全国大会の舞台へいざ、長野!～



年明け、1月6日(土)から7日(日)に釧路市柳町スピードスケート場にて、第54回北海道中学校スピードスケート大会が開催されました。本校からは、十勝地区予選を勝ち抜いた、5名の生徒が出場しました。

それぞれ、自分の今出せる最高のパフォーマンスを発揮し、全国への切符を手にするために頑張りました。なかなか、体調不良や思うような成績を残せない生徒もいましたが、本当に全員、よく頑張りました!!!

1年生島田さんは1000m～1分33秒64(第15位)、1500m～2分24秒80(第13位)、

2年生長田さんは500m～43秒60(26位)、1000m～1分28秒50(第20位)

2年生鳥毛さんは1500m～2分36秒83(第35位)、3000m～5分30秒23(第29位)

2年生黒坂さんは1500m～2分20秒52(第3位)、3000m～5分01秒30(第5位)

3年生小原さんは500m～2回目45秒20(第11位)、1000m～2回目1分33秒03(第14位) **【教育長表敬訪問】**

本大会において、4名の生徒が2月3日(土)から長野県で開催される全国大会に出場が決定いたしました。



## 2月行事予定

- 3日(土) バレーおおさか杯(～4日)
- 7日(水) 定例職員会議  
PTA小中合同研修会
- 8日(木) 幕別町小中一貫  
CS連絡協議会
- 9日(金) 漢字検定
- 12日(月) 全十勝学年別卓球大会
- 13日(火) 公立高校推薦入試
- 15日(木) 私立高校一般入試

- 17日(土) 全十勝中学校スピードスケート  
新人戦大会
- 18日(日) 忠類ナウマンそり大会
- 19日(月) まくべつ教育の日  
1年生振替休業日
- 20日(火) 授業参観日(1・2年)
- 21日(水) 校内研修日
- 22日(木) 1・2年後期期末テスト





# しばざくら

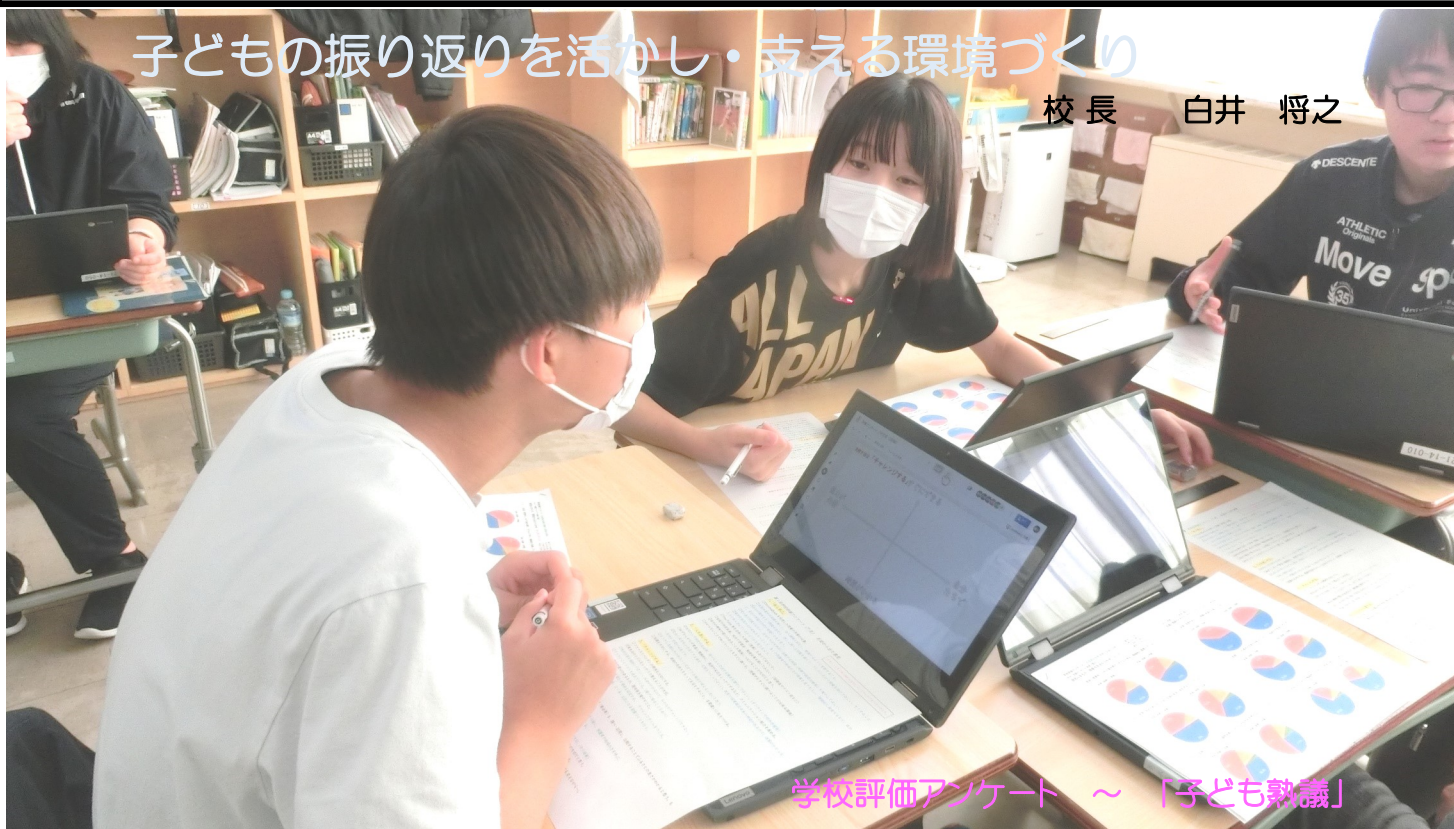
- 【教育目標】 「心豊かに たくましく 生きぬく生徒」
- 自ら学ぶ生徒
  - 人を思いやる生徒
  - チャレンジする生徒
  - ふるさとを愛する生徒



教職員の「評価アンケート熟議」  
～子どもの声を授業改善に活かす～

## 子どもの振り返りを活かし・支える環境づくり

校長 白井 将之



学校評価アンケート ～「子ども熟議」

年明け早々に、能登半島地震や航空機事故などがあり、多数の方がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りするとともに、今なお、避難生活を余儀なくされる皆様の早期の復旧・復興を願っているところであります。私自身の知人も珠洲市の小学校長をされており、元旦より、学校での避難所開設にご尽力されました。不眠・不休の中で住民の受入れを始め、子どもたちの安心・安全の確保などに取り組まれております。災害は時と場を選ばず、いつ何時発生するか予測ができないため、普段からの様々な備えがいかに必要であることを痛感した次第です。学校も避難所としての機能を果たすことが求められており、その役割の重さを、改めて心得たいと思います。

さて、第2回の学園評価を「保護者」「教職員」「生徒」を対象に行い、今年1年間の教育活動の振り返りをそれぞれの役割・知見から行いました。その中でも特に大切なことは、子ども目線で目の前の現象を捉えること。そして、子どもから出てきた振り返りでの考えや意見などを、周りの大人がどのように受け止め、子ども自身の学習や生活への取組が豊かで充実したものにするための、支援等の環境をどのように整えていくか問われているように思います。得てして、子どもを置き去りにして、大人が頭を悩ませ子どもにとって良いと思ったことが、子どもの心に響いておらず、やらされ感になっていることも多々あります。もっと子どもの声に耳を傾け、何を課題に感じ、何を必要としているのか？そして、何をしたのか？等、子ども主体で物事を考えることが重要ではないでしょうか。

今回、年度反省のアンケート結果を踏まえ、子どもたちは自分たちの振り返りを行いました。実に、様々な意見や要望が出され、子どもたちの声を教職員や学校運営協議会の年度反省に活かしたいと考えています。そして、新年度計画を作成するための資料として、本年度の忠類中学校重点目標の一つでもありました「一人一人の子どもが輝く学校づくり」につなげていきたいと思ひます。

年度末に近づき、まとめの季節となります。何かと皆様方にとっては、お忙しい時期とはなりますが、引き続き、本学園・本校の教育活動にご理解とご尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 忠類中学校 新春席書大会



本校の伝統行事の一つであります「校内新春席書大会」が1月16日（火）に開催されました。某本校出身の先生も「中学時代に書きました」とおっしゃり、かれこれ30年以上の歴史があるようです。

なかなか大筆を手に取り、書に親しむ経験はないと思います。それぞれ、1年生は「新たな決意」、2年生は「生命の尊重」、3年生は「友好の精神」が課題として示され、限られた時間でしたが、それぞれ自分と向き合いながら集中して書に親しんでおりました。現在は国語科で取り組んでいるこの学習がこれからもつながっていくことを期待しています。



今回、各学年の特選に選ばれた生徒です。

1年：高橋はる さん

2年：長崎照久 さん

3年：小原唯奈 さん

以上、3名です。その他、入選作品も選ばれました。



## 小中一貫教育～『乗り入れ授業』（体育編）



3学期より忠類小学校でスタートした「スケート学習」に本校の体育教員の堀井先生が1月22日（月）に乗り入れ授業を行いました。

高学年の三宅先生と連絡調整を行い、全体的にサポートしながら、スタートや滑り方の指導を丁寧におこなっていただきました。

中体連スケート専門部にも所属された経験をもち、世界・日本で活躍する多くのスケート選手の輩出にご尽力された先生です。小学生も真剣にしっかりと話を聞き、上手になろうと一生懸命にチャレンジする素敵な姿が見られました。

スケート学習の期間は短く、限られた時間ではありますが、その他の教科の乗り入れ授業も含め、中学校の先生方の専門性が活かされ、いずれ入学してくる子どもたちの指導に携わる機会をいただけることは本当に光栄なことです。今後とも、小中一貫教育の充実の一つの取組として、『乗り入れ授業』が子どもたちの学びの課題解決や健やかな成長につながるよう取り組んでいきたいと思ひます。

## 1年「ふるさと学習」～地域活性化の取組について

今年で3年目となります1年生の「忠類ナウマン全道そり大会」の参加を通じて、地域活性化の取組として行ってきたイベント事業の「住民の思い」や「これまでの歴史」、「今後期待することや課題」等、様々な示唆に富んだ内容を忠類再発見サポートクラブ ディスカバリー五十嵐さんよりお話をいただきました。

今回の学習に際して、事前に、学校に頂戴しました「忠類地域読本 TAKE P RIDE ～ふるさとちゅうるいの現在・過去・未来～」を活用させていただきました。この地域読本には地域の皆さんの忠類への思いが凝縮されており、ここ忠類で育った子どもたちにとっては、新たな気づきやこれからも大切にしていきたい沢山の足跡が記載されています。今回の講義の内容とも重なる面もあり、子どもたちは、ふるさとへの愛着や誇りにつながる良い学習の機会となりました。

今後は、2月18日の「忠類ナウマン全道そり大会」に向けて、子どもたちはその製作に取り組んでいきます。五十嵐さん、いつも、有難うございます。





# 第2回学園評価結果～生徒・教職員がこれからの学校について熟議～

年2回実施している学校評価はちゅうるい学園の小中学校の全児童生徒・保護者・教職員を対象に、同じアンケート項目で実施しています。生徒は「自分の生活や成長を振り返る機会」として、保護者は「お子さまの成長をどのようにとらえているか」を確認し、教職員は「子どもの姿を通して、自分の教育活動や働きかけ」を振り返り、次年度に向けて考察する材料としています。

忠類中学校分の評価結果を掲載いたします。

## 令和5年度 ちゅうるい学園評価 忠類中 集計結果

No.	評価項目	生徒		保護者		教職員	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
ちゅうるい学園 めざす子ども像 (あたま:知) 探究心をもち 想像力をはたらかせ 自ら学ぶ子ども							
1	(生) 授業中、しっかり話を聞き、きちんと考え、積極的に発表している。	3.3	3.2	2.7	2.8	2.9	2.9
2	(生) 学校で学んだことを、日頃の生活に生かすようにしている。	3.4	3.1	3.0	2.8	2.7	2.9
3	(生) いろいろなことに疑問をもち、どうしてなのかを考えるようにしている。	3.2	3.0	2.7	2.7	2.9	3.1
ちゅうるい学園 めざす子ども像 (こころ:徳) 礼儀と感謝の心をもち 優しい気持ちで 人を思いやる子ども							
4	(生) 返事やあいさつ、感謝の気持ちを表している。	3.6	3.4	3.0	3.2	3.2	2.9
5	(生) いつも相手の気持ちを考えて、優しい気持ちで生活している。	3.5	3.3	3.3	3.2	3.1	3.1
6	(生) まわりの人と積極的にかかわって、仲良く過ごしている。	3.6	3.3	3.0	3.0	3.1	3.0
ちゅうるい学園 めざす子ども像 (からだ:体) 健康でたくましい体をもち 根気強く チャレンジする子ども							
7	(生) 起きる時間や寝る時間、学習時間など、きちんと時間を決めて守りながら生活している。	3.0	2.7	2.7	2.7	3.0	3.0
8	(生) 日頃から、できるだけ体を動かすようにしたり、バランスのとれた食事をとったりするなど、健康に気をつけて生活している。	3.4	3.3	3.0	2.9	3.0	2.9
9	(生) 少し難しいことでも、失敗を恐れなくてチャレンジし、最後まで粘り強く取り組もうとがんばっている。	3.3	3.2	2.6	2.9	3.1	3.0
ちゅうるい学園 めざす子ども像 (ふるさと:郷土) 夢と誇りをもち 仲間と未来を語る ふるさを愛する子ども							
10	(生) 自分や家族、仲間を大切に、役割を果たそうとがんばっている。	3.7	3.7	3.0	3.0	3.2	3.0
11	(生) 「ふるさと学習」に進んで取り組み、ふるさとのよさを知っている。	3.3	3.1	2.7	3.2	3.0	3.3
12	(生) お子さんは、夢や目標をもち、それに向かって努力する姿勢が身に付いている。	3.3	3.0	2.9	3.1	2.7	3.1

生徒の評価から、「普段の学びが日常生活に生かされている実感もてていない」ことや「普段の生活リズム」について課題意識が高いことがわかりました。また、「生活リズム」については保護者のアンケートでも数値が低くなっています。また、「仲間・家族・ふるさと」への想いの強さもアンケートから感じることができました。

この評価結果を受け、生徒・教職員は学校で今後どのような活動をしていきたいかを話し合う「熟議」の時間をもちました。生徒が学校の教育活動に参画し、教職員が子どもの声を生かした活動を行う仕組みができています。

### ◎生徒による熟議で出された意見（抜粋）

- ・わからないことを互いに交流したり、積極的に発表したり、話しやすい環境を作りたい。
- ・授業で自らチャレンジするような課題設定や雰囲気が必要
- ・親子の会話を増やし。一緒に食事や世間話をする。
- ・生活習慣の改善に取り組むことが必要。時間をうまく使えるようにしたい。
- ・地域活性化案を通じて、ふるさとへの関心が深まった。

### ◎教職員による熟議で出された意見（抜粋）

- ・家庭学習の習慣化に向けた取組（小中連携を含めて）が必要。
- ・生徒がチャレンジしやすい、失敗してもよい環境をつくる必要がある。
- ・ICT（タブレット端末）の研修を深め、積極的に活用できるようにする。

